

第 219 回 河川文化を語る会

これからの大阪・関西を川と水から考える
京都大学防災研究所特任教授 井上 智夫

会場：エル・おおさか（南館 10 階 1023 号室）

日時：2026 年 1 月 13 日（火）

14：30～16：30 **13:30(受付開始)**

定員：120 名（先着順）

参加費：**無料**



申込 QR はこちら



河川
基金

当講演会は、公益財団法人河川財団による
河川基金の助成を受けています

講演概要

大阪が揺れている。人口減少、高齢化・少子化により日本全国がシュリンクしそうになっている中、東京一極集中が過度に進んでいる。このような状況の中、大阪はどのように対応すべきなのか。最近、大阪の鼻息は荒い。ただし、大阪・関西万博の開催、I Rの整備進捗、副首都構想という政治的動向、この延長線上に大阪の未来はあるのだろうか。

かつて天下の台所と言われた大阪がどのような役割を果たしてきたのかを振り返り、その役割にとって欠かせない川と水と人の関わりを見つめ直せば、これから将来の大阪・関西を考えるにあたってのヒントが見えてくる。

講師紹介

1963 年 大阪府高槻市生まれ

1989 年 京都大学大学院修士課程修了（土木工学）、建設省（国土交通省）に入省。

国土交通省において、防災・危機管理に資するインフラ整備・まちづくり・避難支援に関する政策立案、

事業実施に長年従事（2019～20 年は近畿地方整備局長、

2020～22 年は水管理・国土保全局長を歴任）し、2022 年に退職。



現在、西日本旅客鉄道技術顧問（2022 年～）、日本製鉄顧問（2022 年～）、京都大学防災研究所特任教授（2023 年～）として、防災まちづくり、インフラメンテナンス、カーボンニュートラル、気候変動への適応等に関する活動に従事。さらに、地域や企業が抱える課題に対する解決策を立案し、その実行を支援する経営コンサルティングを上智企画代表（2025 年～）として展開中。

申込方法

①氏名 ②(勤務先) ③E-mail または グーグルフォーム

④職種（建設コンサルタント、建設会社、その他民間企業、行政、財団 / 社団、NPO 等川や水の活動、学生、その他）⑤二種正会員（個人会員）/ 一般の別を明記の上、E-mail・グーグルフォームのいずれかからお申し込みください。※②と④の記載は任意です。

【申込先】●日本河川協会「河川文化を語る会」事務局

※ 問合せ先をご参照ください

E-mail : kataru@japanriver.or.jp

※ 定員になりしだい締め切らせていただきます。

問合せ先

公益社団法人 日本河川協会（担当：百武・志賀）

東京都千代田区麹町 2-6-5 麹町 E.C.K ビル 3F

TEL : 03-3238-9771

FAX : 03-3288-2426

E-mail : kataru@japanriver.or.jp

【主催】公益社団法人 日本河川協会

【共催】大阪の河川を愛する会

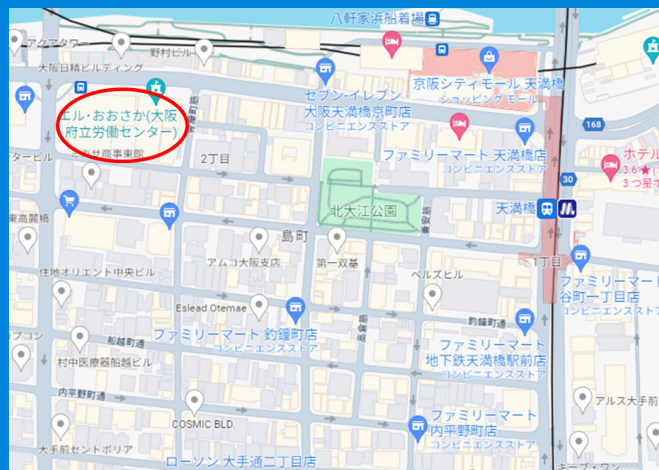
【後援】国土交通省 近畿地方整備局

CPD 認定 1.9 単位



当講演会は土木学会継続教育 (CPD) プログラムに認定されています。

会場案内図



大阪府大阪市中央区北浜東 3-14
天満橋駅出口 1 から徒歩約 4 分
天満橋駅出口 2 から徒歩約 5 分